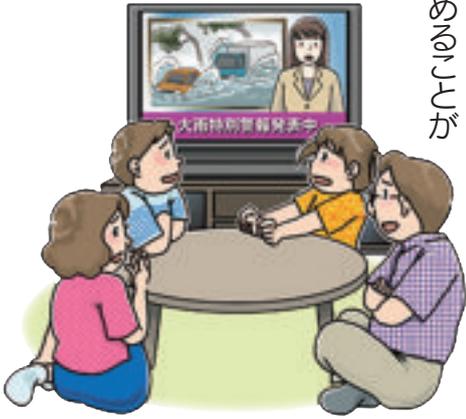




命を守るために知ってほしい 「特別警報」

「特別警報」は、「東日本大震災」や「伊勢湾台風」といった、誰もが一度は聞いたことがあるような大災害が起こるおそれがあるときに、住民の皆さんに最大限の警戒を呼びかけるものです。

特別警報が発表された場合は、住んでいる地域ではこれまで経験したことのないような非常に危険な状況です。ただちに住んでいる地域の避難情報に従うなど、適切な行動をとる必要があります。ただし、特別警報が発表されない場合でも災害が発生するおそれがあるので、警報や注意報、その他防災気象情報等の把握に努めることが大切です。



「警報」とは何が違うの？

「特別警報」は、「警報」の発表基準をはるかに超える数十年に一度の大災害が起こると予想される場合に発表し、対象地域の住民の方々に対して最大限の警戒を呼びかけるものです。住んでいる市町村から住民の方々へ確実に伝えられることになっています。

「特別警報」は次の二つのパターンがあります。

大雨・暴風・高潮・波浪・大雪・暴風雪

大雨・暴風・高潮・波浪・大雪・暴風雪(※)については、「警報」の発表基準よりもはるかに危険度が高い場合に、「大雨特別警報」、「暴風特別警報」のように「〇〇特別警報」といった名称で発表します。

※「洪水」を対象とした特別警報はありません。指定河川洪水予報の発表や水位情報の周知により警戒を呼びかけます。

地震・津波・噴火

地震・津波・噴火に関しては、それぞれ次のように危険度が非常に高いレベルのものを「特別警報」として位置づけます。「〇〇特別警報」という名称ではなく、「緊急地震速報(警報)」「大津波警報」「噴火警報(居住地域)」という名称で発表します。

地震：「緊急地震速報(警報)」のうち震度6弱以上の揺れを予想したもの

津波：「大津波警報」

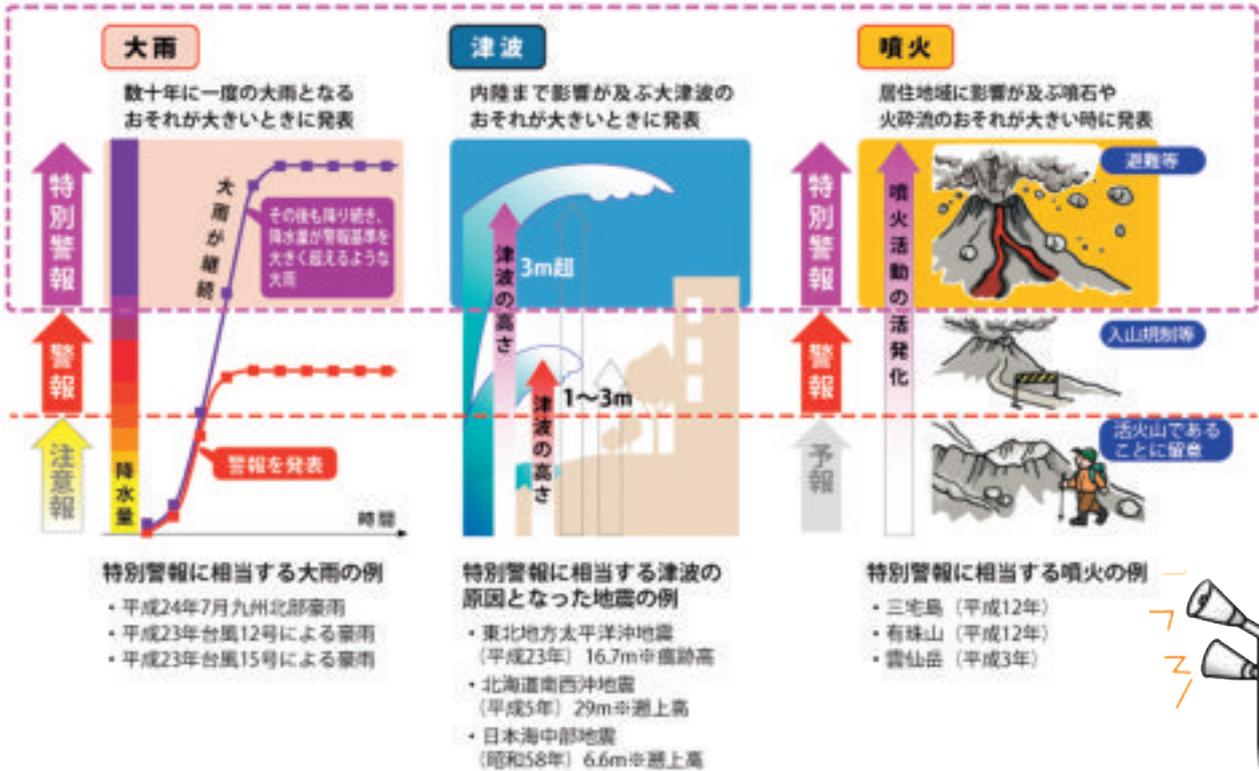
※津波の高さが3メートルを超えると予想される場合に発表

噴火：噴火警戒レベルを運用している火山では、

「噴火警報(居住地域)」「噴火警戒レベル4または5)、噴火警戒レベルを運用していない火山では「噴火警報(居住地域)」「キーワード：居住地域嚴重警戒)」

なお、「特別警報」が発表されない場合でも、災害が発生しないということではありません。大雨や暴風など気象に関する災害のおそれがあるときは、特別警報が発表される前に、時間を追って段階的に「気象情報」「注意報」「警報」などが発表されるので、最新の情報の入手に努め、注意・警戒することが必要です。

『特別警報』イメージ



何のために設けられたの？

東日本大震災における津波、平成二十三年台風第十二号による紀伊半島を中心とする大雨では、極めて甚大な被害が出ました。

これらの災害において、気象庁は警報を始めとする防災情報により重大な災害への警戒を呼びかけたものの、災害発生の危険性が著しく高いことを有効に伝える手段がなかったために、市町村長による的確な避難勧告・指示の発令や、住民の迅速な避難行動に必ずしも結びつきませんでした。

これらを踏まえて気象庁は、住民の方々に対して重大な災害の危険性を正しく伝達するために「特別警報」を新たに設けました。

特別警報の対象となる現象例としては「東日本大震災」(地震・津波)や「平成二十三年台風第十二号」(大雨)のほか、我が国の観測史上最高の潮位を記録して五千人以上の死者・行方不明者を出した昭和三十四年の「伊勢湾台風」(大雨・暴風・波浪・高潮)、平成二十四年七月の九州北部豪雨(大雨)、平成十二年の三宅島噴火(火山噴火)などが該当します。

「特別警報」はいつ発表されるの？

大雨や暴風など気象に関する特別警報が発表される前には、気象情報や注意報、警報などが順次発表されます。

大雨が予想される場合のイメージ

①警報・注意報に先立って「大雨に関する気象情報」を発表し、注意を呼びかける。

②現象の推移に応じて「大雨注意報」を発表。(警報になる可能性がある場合(その旨記述))

③「大雨警報」発表時には、大雨の期間や予想雨量、警戒を要する事項も共に発表。

④その後も大雨が降り続き、重大な災害が起こる危険性が非常に高まった場合に、「大雨特別警報」を発表。

このように、特別警報の前にも大雨などの現象に応じて、気象情報や注意報・警報が段階的に発表されます。これらの情報入手を常に心がけ、早め早めの行動がとれるように準備しておくことが大切です。

特別警報は、警報・注意報と同じく、住んでいる市町村にある防災行政無線や広報車などのほか、テレビ・ラジオといったマスメディアや、インターネットなどを通じて伝えられます。また、携帯電話事業者を介して、緊急速報メールにより携帯電話へ直接配信されます。このような多様な手段を通じて、対象となる地域の方々へ確実に伝えられます。

どうやって伝えられるの？



特別警報が発表されたら、
どうすればいいの？

特別警報が発表されたときは、経験したことがないような大雨や暴風など、異常な現象が起きる状況であるため、ただちに住んでいる地域の避難情報に従うなど、適切な行動をとることが重要です。仮にこの数十年間、災害発生の経験がない地域でも油断は禁物です。

まずは決して慌てずに周囲の状況に注意し、住んでいる市町村から避難勧告などが発令されている場合には、ただちに従ってください。避難しようとしたときに、大雨や暴風のために屋外を移動することがかえって命に危険を及ぼす状況となっており、やむを得ず自宅などに留まる場合には、二階などのより安全な場所に避難するなど、命を守るために、最善を尽くしてください。既に避難を完了している場合も油断しないべく、



特に大雨などの、時間とともに危険度が増していく現象では、特別警報よりも前から段階的に発表される気象情報や注意報・警報、さらに土砂災害の危険度が高まったときに発表される土砂災害警戒情報等をしつかり確認するとともに、「土砂災害警戒判定メッシュ情報」により、土砂災害の危険度が高まっている詳細な領域を把握し、早め早めの行動をとることが大切です。

そのためには、住んでいる地区にどのような危険があり、災害から命を守るためにはどのような避難行動をとる必要があるのか、自治体の公表しているハザードマップなどを参考に、日頃からしつかり認識しておくことが大変重要です。平常時から、避難場所や避難ルート、家族間での連絡手段、住んでいる市町村からの情報を入手する方法などを十分に確認してください。



我が家の災害への「備え」をチェック



大災害が発生したときには、電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まってしまう可能性があります。ライフラインが止まっても自力で生活できるよう、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大切です。また、自宅が被災したときは、安全な場所に避難し、そこで避難生活を送ることになります。避難所生活に必要なもの（非常用持ち出し品）をリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるように備えておきましょう。

災害時に備えた備蓄品の例

- 飲料水 一人1日3リットルを目安に、3日分を用意
- 食品 ご飯（アルファ米など一人5食分を用意）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど、一人最低3日分の食料を備蓄しておきましょう。
- 下着、衣類
- トイレtpーパー、ティッシュペーパーなど
- マッチ、ろうそく
- カセットこんろ

※非常に広い地域に被害が及ぶ可能性のある南海トラフ巨大地震では、「1週間分以上」の備蓄が望ましいとの指摘もあります。

※飲料水とは別に、物を洗ったり、トイレを流したりするための水も必要です。日頃から水道水を入れたポリタンクを用意する、お風呂の水をいつもはっておくなどの備えをしておきましょう。

非常持ち出し品の例

- 飲料水
- 食料品（カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）
- 貴重品（預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など）
- 救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）
- ヘルメット、防災ずきん
- マスク
- 軍手
- 懐中電灯
- 衣類
- 下着
- 毛布、タオル
- 携帯ラジオ、予備電池
- 使い捨てカイロ
- ウェットティッシュ
- 洗面用具



※乳児のいる家庭はミルクや紙おむつ、ほ乳びんなども用意しておきましょう。

（資料：消防庁「わたしの防災サバイバル手帳」ほか）

※政府広報オンライン「暮らしに役立つ情報」より引用



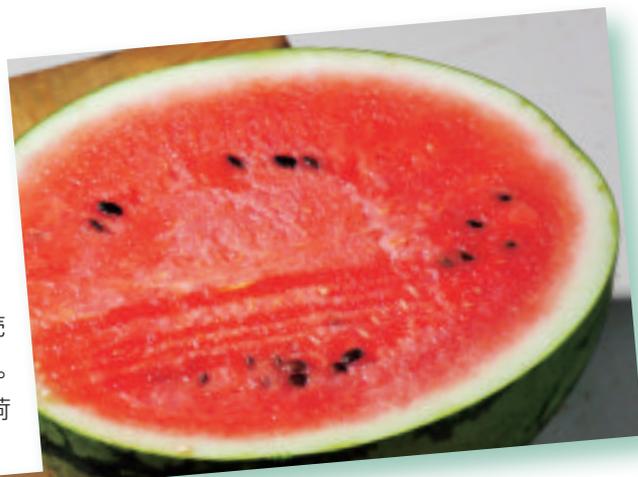
7月31日(月)
サッポロスイカ初セリ

夏の主役!「サッポロスイカ」 2玉1万円の最高値

手稲山口の特産品「サッポロスイカ」の初セリが札幌市中央卸売市場で行なわれ、1箱秀品2玉入り1万円の最高値が付きました。今年は、6月の天候不順もあり出来が心配されていましたが、出荷は例年より3日ほど遅れたものの昨年よりは12日早く、糖度も12度と申し分ない甘いスイカに仕上がりました。用意した試食は飛ぶようになくなり、「今年も甘いね」と好評の声が聞かれました。

サッポロスイカは「大浜みやこ(カボチャ)」と並ぶ同地区の特産品で、砂地の畑で栽培され朝晩の寒暖の差によって引き出される抜群の甘さが特徴です。現在の生産者は4戸で、今年は9月上旬頃までに7,000ケース(1ケース10kg)の出荷を予定しています。

▶昨年同様、最高値1万円で取り引きされた、サッポロスイカ。



7月28日(金)
学校栄養士 圃場視察研修

給食に使う作物の圃場 学校栄養士が視察

当JAでは、琴似支店組合員 漆崎智さんにご協力いただき、札幌市小中学校の学校栄養士8名を対象とした圃場視察の受け入れを行ないました。

この視察は、札幌市教育委員会が新採用栄養士向けに行なう研修の一環で、市内の学校給食で使用する作物の圃場を実際に訪れ、農業に関する知識や理解を深めてもらうというもの。当JAでは、一昨年からの取り組みに協力しています。

漆崎さんは、西区小別沢で小松菜、大根菜、白菜などを中心に作付けしており、参加者は、ハウスの中の様子を見学しながら、生育期間や収穫までの作業の説明に熱心に耳を傾けていました。



▲参加者を前に作物について説明する漆崎さん(左)。



8月9日(水)
JAさっぽろ青年部

教員が“農”に触れる 「農村ホームステイ事業」

当JA青年部 平賀部長のハウス(南区)にて、北の沢小学校の栄養教諭、高橋知子さんが、ミニトマトの収穫体験を行ないました。これは、石狩地区5JAの青年部で組織する石狩地区農協青年部連絡協議会の「教員を対象とした農村ホームステイ事業」として行なわれたもの。子供たちに「食と農の大切さ」を教える立場にある先生に、農家の仕事や話に直接触れてもらおうと、平成25年度から道内各地で取り組んでいます。

体験した高橋さんは、「平賀さんのお話を聞いて、農業は大変なだけではなく、希望溢れる職業なんだとあらためて感じました。子供たちにも農業のすばらしさ、大切さをこれまで以上に伝えていきたいです」と感想を話していました。



7月18日(火)
青年部中央支部・厚別支部

支部の垣根を越えた交流 2支部合同のゴルフコンペ開催

青年部中央支部(三上一彦支部長)と厚別支部(山下秀美支部長)では、各支部から総勢18名が参加し真駒内カントリークラブにて親睦ゴルフコンペを開催しました。

今回は、2支部の部員が混在した組み合わせでコースをラウンド。日ごろの練習成果を見事に発揮された方、イマイチ調子が出なかった方といったようですが、親交を深めながら和気あいあいとプレーを楽しんでいました。

コンペ終了後は、会場をジャスマックプラザに移して懇親会を開催。プレーの反省や近況報告など、和やかな雰囲気の中で楽しい時間を過ごし、来年の再会を約束して閉会しました。

(福島特派員)

優勝	三上一彦(中央支部)
準優勝	高田英樹(厚別支部)
3位	中野祐一(厚別支部)

(敬称略)



7月12日(水)~7月14日(金)
女性部北札幌支部

島々の雄大な自然に触れた3日間

女性部北札幌支部(土谷真理子支部長)では、部員16名が参加し稚内・利尻・礼文をめぐる道内研修を実施しました。

初日は稚内グランドホテルで宿泊し、翌朝一番の船で礼文島へ。礼文島ではバスで半日観光を楽しんだ後、フェリーに乗り利尻島へと渡りました。島では大変強い風が吹く中での旅行となりましたが、普段見る事が出来ない貴重な花々を楽しみ、新鮮な海の幸を堪能しました。たくさんのお土産を手に帰路に着き、充実した旅行となりました。

(谷本特派員)





7月11日(火)
～7月12日(水)
女性部平岸支部

雨でもとっても楽しかった！ 島旅の最後は青空

女性部平岸支部（古屋妙子支部長）では、部員10名が参加し天売・焼尻島へ1泊2日の研修旅行を実施しました。

初日は小雨から大雨に変わる中、島観光をスタート。島全体が霧に包まれ早々に宿に移動しました。あいにくの天候だったものの、宿では夕食のウニ・あわび等海産物を満喫しました。2日目は、小雨に見舞われながらも観光へ。天気は回復はないかと

思いきや、残り1時間で天売島は見事な青空に変わり、民宿のオーナーさんのご好意によりバスで島を一周して頂きました。隣の島、焼尻島と遠くには利尻島を見る事ができ、無事に研修旅行を終える事が出来ました。

参加された皆さんは雨の旅行は大変慣れており、雨の中でもとても楽しく、有意義な研修旅行となりました。（黒岩特派員）



▲てるてる坊主のおかげで晴れた！



7月26日(水)
女性部白石支部

絶好のクルーズ日和でイルカに遭遇 室蘭の名物・名所、余すところなく

女性部白石支部（越野ナミ子支部長）では、部員21名が参加し室蘭方面への日帰り研修旅行を実施しました。

天候にも恵まれ快晴の中、クルーズに乗り込み室蘭沖でのイルカ・クジラウォッチングへ。残念ながらクジラは見る事ができませんでしたが、イルカが群れで泳いでいる光景を何度も見る事ができ、とても感動しました。昼食には、室蘭名物のカレーラーメンと室蘭焼き鳥を食べて一同大満足。午後からは、国の有形文化財に登録されている旧室蘭駅舎を訪れ、明治期の洋風建築のたたずまいが現在まで残っている様子に歴史を感じました。最後に立ち寄ったのは、“北海道の自然100選”にも選ばれている地球岬。全国的にも有名な絶景に目を奪われましたが、断崖絶壁に立って下を見下ろすと足が震えるような高さに驚愕しました。

室蘭の見どころを一日で満喫し、無事帰路につきました。（澤田特派員）



7月12日(水)～7月14日(金)
厚別支店年金友の会

江戸時代から現代まで、東京の今昔に触れる旅

厚別支店年金友の会(高橋光雄会長)では、会員17名が参加し2泊3日の行程で東京方面への親睦旅行を実施しました。

1日目は新幹線での移動だけでしたが、車中は仲間との話がはずみ、あっという間に到着しました。2日目の江戸東京博物館では、江戸時代からの東京を再現した展示がされており歴史に触れることができました。また、東京スカイツリーでは、地上450メートル展望回廊からの開放的な眺望が心に残るものとなりました。夜は隅田川を流れる屋形船に乗船。お台場、スカイツリーの夜景を見ながらの会食は格別で大いに盛り上がりました。心配していた雨にもあたらず天候に恵まれ、旅行を楽しむことが出来ました。(服部特派員)



7月28日(金)
資産管理部会白石支部
青色申告会白石支部

地震の怖さを体感、備えの大切さ実感

資産管理部会白石支部(丸亀鐵治支部長)と青色申告会白石支部(稲垣政博支部長)では、会員15名が参加し日帰り合同研修旅行を実施しました。

千歳市防災学習交流センター“そなえーる”では、油圧稼働で三次元に再現された地震の揺れと停電や火災の煙が充満する室内からの脱出を体験。震度7の熊本地震、東日本大震災の揺れは体が突き上げられるようで、地震エネルギーの凄まじさを感じました。また、被害が多かったという倒れた家具の下敷きにならないよう、日ごろから備える大切さを学びました。

午後からは小雨が降るあいにくの天気となってしまいましたが、しこつ湖鶴賀リゾートスパ水の調にて多彩な野菜料理と温泉でゆったり大満足。帰りには、苫小牧の海の駅、千歳の道の駅に立ち寄り、思い思いに選んだ地場産品のお土産を抱えて札幌に戻りました。(尾崎特派員)



▲地震の揺れを実際に体験。



8月4日(金)
JAさっぽろ役員OB会

新会長に坂田文正さんが就任 第18回定期総会開催

JAさっぽろ役員OB会(沼田初太郎会長)では、会員25名と役員11名が参加し、札幌全日空ホテルにて第18回定期総会を開催しました。

総会では、前年度の事業報告や収支決算などが事務局から詳細に説明され、提案された議案は、満場一致で全て承認されました。また任期満了に伴う役員改選も行なわれ、会長に坂田文正さん、副会長に尾池純一さんと堂佛栄一さん、監事に北島英司さんと熊本基雄さんが新たに就任しました。

その後行なわれた懇親会では、近況と思い出話を語り合いながら楽しい時間を過ごしました。



「日帰り研修旅行」

エルカレッジ

～ Lady (女性) が Link (つながり) を持って Life (生活) について Liberty (自由) に Learn (学ぶ) ところ～

8月22日(火)のエルカレッジは、年に一度の「日帰り研修旅行」。恵庭市の「えこりん村」や「北海道警察本部」を訪れました。

前回までの講座を通して第4期の受講生は、すでに皆さんとっても仲良し。学生時代の社会科見学さながらに、バスの中では笑い声が絶えることがなくゲームなどで盛り上がりました。

「えこりん村」は、アルパカをはじめとした動物たちとの触れ合いや、季節の花々を楽しめる庭園など自然がたっぷりの施設。まずは、全員で「羊毛クラフト」に挑戦。羊毛の繊維をニードルパンチという特殊な針を使ってからめていくことで形を作り、ふわふわのアルパカが完成しました。クラフト体験の後には、外に出て庭園や牧場を散策。この日は、あいにくの雨模様で庭園は見ることはできませんでしたが、牧羊犬とひつじの「牧場ショー」を見学し「天気の良い日にぜひまた来てみたい!」と受講生からは大好評でした。昼食は、えこりん村内の「森のレストラン Ten-Man」で彩り鮮やかな野菜をふんだんに使ったベジビュッフェを楽しみました。

午後からは札幌に戻り、北海道警察本部へ。普段はなかなか見ることができない警察内部の施設を見学し、私たちの生活を守る仕組みを垣間見ることができました。

大人も楽しいえこりん村



▲羊毛クラフト完成～!それぞれのアルパカは、ちょっとずつ顔が違います。
「自分で作ると愛着がわきます!かわいくできた～!」



▲ニードルを使ってチクチクチクチク。
集中力を発揮。

世界一大きなトマトの木。水耕栽培で育てられるトマトが天井一杯に広がります。▶



◀触りたくなるようなモフモフの毛並みが特徴のアルパカ。毛を刈ったばかりで、ずいぶんスマート(笑)。

北海道警察本部に潜入!



▶白バイ隊員になりきり、パトロールに出動!?

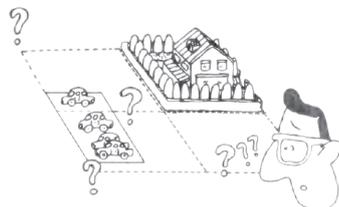


あなたの土地に境界標はありますか？

あなたの土地には、境界をはっきりと示す標識（しるし）がありますか？

自分の土地は自分で管理することが原則ですが、たとえば境界を示す杭がなかったり、せっかくあった杭を動かしてしまったりして、どこからどこまで自分のものかはっきりしていなかったら、管理するどころか、土地を自由に使うこともできません。場合によっては境界をめぐる、いさかいの原因ともなりかねません。

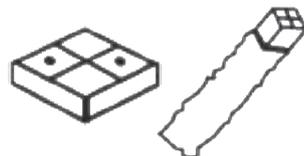
まずは、ご自分の土地に、杭などの境界を示す標識（しるし）があるかどうか、それが簡単には動かないようになっているか確認してみてください。



境界標設置の意義

境界標は、御影石、コンクリート、プラスチックなどの材質でできた杭で頭部に十字や矢印によって筆点を示すものや、十字や矢印を刻んだ金属プレート、金属鋸などのことです。土地は、売買や相続等により引継がれていきますので、自分だけが境界を知っているのではなく、第三者にも分かるようにしておくことは土地の買主や将来土地を引継ぐ子や孫に対する責任でもあります。

大切な財産である土地の管理は、「境界標の管理」から始まります。



境界標の基礎知識

境界標は、境界の点や線の位置を表すための標識（しるし）です。境界標の頭部には、境界点の位置を特定するしるしが付いています。

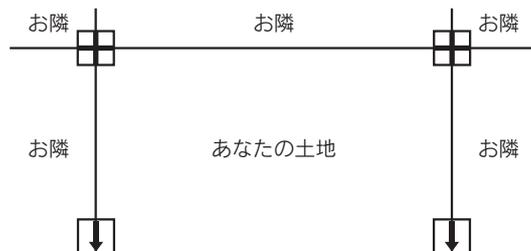
◆コンクリート杭又は石杭 金属標・プラスチック杭など



◆木杭 (仮杭、一時標識)



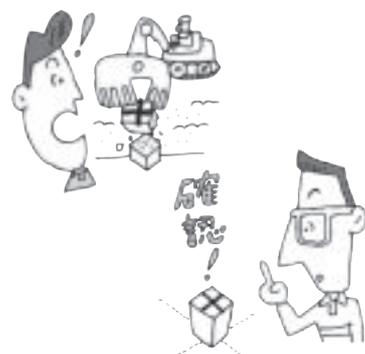
◆金属鋸、金属標もコンクリート杭に準じて作成され、種類もたくさんあります。



境界標は自分で管理しましょう

【境界標が無くなってしまふ事例】

- 傾斜地等で土砂崩れなどによって移動したり無くなってしまふ場合
- 道路工事や電柱工事又はブロック塀の築造によって無くなってしまふ場合
- 車などに踏まれることによって移動、破損する場合
- 境界標の頭部が破損することによって矢印や十字印が分からなくなる場合
- 経年変化、腐食などによって破損する場合



境界標付近で工事などが行なわれるときは、境界標が移動したり、無くなってしまったりしないように、事前に工事責任者に確認するなどの注意をすること、万が一移動した場合には、もとの位置に復元できるような地積測量図（の写し）などを保管しておき、「もしも」のときに備えておくことが大切です。

9月30日(土)
経済センターは臨時休業いたします



各経済センター店舗は、仮決算棚卸のため臨時休業させていただきます。
組合員の皆さまには大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

伝

言

板

理事会だより

◆第三回臨時理事会

平成二十九年七月五日（水）午後三時三十分より本店役員会議室において第三回臨時理事会が開催された。

●協議事項

一、北海道へ提出する行政庁用業務報告書について

農業協同組合法の定めにより、総代会終了後二週間以内に理事会の承認を得て行政庁へ報告する事が義務付けられている事、記載事項についても省令で定められており、内容について説明され、可決決定。

二、平成二十九年度における各理事の報酬額の決定について

総代会で決定した平成二十九年七月から翌年六月までの理事報酬総額にかかる個別理事報酬（案）が説明され、可決決定。

三、退任理事に対する退職慰労金の支出の決定について

総代会で決定した任期満了に伴う理事退任者に対する退職慰労金の支給内容、支給方法、支給時期等が説明され、可決決定。

●監事報告事項

一、各監事の報酬額に関する報告
二、退任監事に対する退職慰労金の支出に関する報告

（閉会：午後四時十五分）

◆第四回定例理事会

平成二十九年七月二十八日（金）

午後一時より本店役員会議室において第四回定例理事会が開催された。

●協議事項

一、平成二十八年度決算版ディスクロージャー誌について

記載内容が説明され、可決決定。なお、七月末までに当組合ホームページで開示する事、および冊子については店舗および事務所に備え付ける旨が補足説明された。

二、『反社会的勢力等への対応に関する規程』の一部改正について

犯罪収益移転防止法により、継続的顧客管理のための体制整備として新たに求められる事項に伴う所要の整備である事が説明され、可決決定。

三、金融機関への貸付（累計五億円超）について

本店営業部扱いの大口融資二件について、申込者、申込事項、取組経過等が説明され、可決決定。

四、LPGガス事業の譲渡について

競合するガス業者の顕著な推進対応等により年々供給先が減少している現状を踏まえ、将来的な事業量の確保・拡大が困難と判断した事、ならびに組合員の利便性や利用者の安全性の確保を最優先と考えた事による事業の譲渡である事が説明され、可決決定。

●報告事項

一、内部監査結果報告（平成二十九年第一四半期）

二、反社会的勢力との取引排除に係る対応状況について

三、平成二十九年度上期地区別懇談会の広報誌掲載について

四、平成二十九年度第一四半期余剰金等運用実績報告

五、平成二十九年度第二四半期余裕金運用方針について

六、特定事業者作成書面（リスク評価書）の作成について

七、JA経営状況に関する事項の報告について

八、総体的なリスク量の報告について

九、リスクの量的管理報告

十、平成二十八年度産共計玉葱最終精算について

十一、六月末財務状況報告

十二、六月末組合員加入・脱退状況および未済持分譲渡報告

十三、七月の動静と八月の予定について

十四、札幌協同振興株の第一四半期実績報告

（閉会：午後三時十三分）

おくやみ

下記の正組合員の方々が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。（7月16日～8月15日）

支店名	氏名	享年	月日
南	藤田 藤次郎さん	84才	7/28
	櫻井 信一さん	65才	7/31
	竹下 盛吉さん	82才	8/6
琴似	高野 重利さん	87才	8/3
西町	前鼻 博さん	81才	7/21
	草刈 和雄さん	66才	7/22
月寒	沼田 好託さん	61才	7/24
厚別	伊川 いり子さん	89才	7/19
	宮坂 廣義さん	88才	7/27
	新堂 キヨさん	90才	8/4
篠路	金子 キエさん	78才	7/23
	山内 俊雄さん	81才	8/12
新琴似	佐藤 輝雄さん	75才	7/27

JAさっぽろDATA

（平成29年7月末業務実績） （平成29年6月末業務実績）

組合員数	正組合員	3,852名	正組合員	3,847名
	准組合員	30,588名	准組合員	30,259名
	合計	34,440名	合計	34,106名
出資金残高	52億7千7百万円	51億6千6百万円		
販売取扱高	5億9千9百万円	4億3千3百万円		
購買供給高	4億6千5百万円	3億9千7百万円		
貯金残高	3,060億3千2百万円	3,057億4千8百万円		
融資残高	893億2千9百万円	890億1千9百万円		
共済保有高	6,047億8千8百万円	6,060億1千8百万円		
施設建設取扱高	4千3百万円	4千3百万円		
管理受託戸数	4,166戸	4,109戸		

※出資金残高については、処分未済持分を控除した額です。

6支店から8名が受賞！ 平成28年度JA共済優績表彰

平成28年度全道LAスマサポ大会(表彰式)が共済ホールにて開催され、当JAの受賞者から6名が登壇し、表彰を受けました。

同式は、全国共済連北海道本部が毎年開催しているもので、様々な分野で顕著な成績を収めた全道の推進担当者(LA)と窓口担当者(スマイルサポーター)を対象に個人の栄誉を称え表彰するものです。

組合員・地域利用者皆さまのご愛顧によりこのような貴重な賞をいただけたことに心から感謝申し上げます。引き続き、組合員・地域利用者の立場に立ったきめ細かな窓口対応、訪問活動に精進してまいります。

◆受賞者

JA共済優績LA顕彰

中央支店 高山ゆかり
中央支店 曾我美由紀
中央支店 伊藤壘

JA共済優績

スマイルサポーター顕彰

月寒支店 岡田佳奈子
本店営業部 横倉奈緒子
屯田支店 内海好恵
手稲支店 小山田智美
平岸支店 白井美帆

※平成28年度在籍店舗



▲登壇し、表彰状を受け取った、曾我主任、伊藤職員、高山主任、横倉主任、内海職員、岡田職員。

韓国のタマネギ生産農協の 視察を受け入れ



8月10日(木)、韓国内のタマネギを主に生産する農協が加盟する韓国農協たまねぎ協議会が当JAの視察に来訪しました。今回の視察受け入れでは、管内のタマネギ生産の概要を説明し韓国との違いなど情報交換を行なった他、玉葱選果場や圃場の見学を実施しました。

視察した協議会の方々は、「選果場の機械がすごくきれいに使われていて、20年以上経っているとは思えない。圃場も丁寧に手入れされていて、とてもきれいだ」と驚いた様子で話していました。

1 統括支店1 協同活動 農作物の観察日記 ホームページで公開中!

それぞれの支店の1 統括支店1 協同活動で育てている農作物の観察日記を当JAのホームページ上で公開しています。

広報誌では伝えきれない各地区の取り組みを詳しく掲載していますので、是非ご覧ください。



観察日記は
こちらから!



<http://www.ja-sapporo.or.jp/>

JAさっぽろ 検索

携帯電話・
スマートフォンからの
アクセスはこちら→



石狩農業改良普及センターから 石狩管内若手女性農業者向け 研修会のご案内

石狩農業改良普及センターでは、農業に関する知識の習得など、若手女性農業者を対象にした様々な研修会を下記の日程で企画しています。参加の申込み等詳細につきましては、下記お問合わせ先までご連絡ください。

スキ ★農が好きルアップ研修★

日時	場所	内容(予定)
平成29年 10月24日(火)	江別市	【農業機械研修】農作業事故の実態と農作業安全の心得・安全作業体験
11月14日(火)	江別市	【講義実習】農業経営を知る〈導入編〉
平成30年 1月下旬	札幌市	【講演】家族との「会話」「理解」「役割分担」から農業経営が変わった

★農産物を知る・学ぶ・食べる★

日時	場所	内容
平成29年 12月5日(火)	江別市	【視察】「えみくる」テストキッチン見学 【講演】加工販売実践者の取組概要

お問い合わせ先 石狩農業改良普及センター本所(担当:菊地・佐久間)
TEL:0123-36-8083

農作業時の事故に注意!! 機械のつまり除去は必ずエンジンを止めてから!

様々な農業機械によるつまり除去時や点検中の巻き込まれ事故が、全国的にも多く発生しています。死亡事故につながるケースもありますので、十分に注意して作業を行ないましょう。

農作業機械による巻き込まれ等事故の主な事例

○自脱型コンバイン

コンバイン始動中、引っかけた稲わらを抜こうとした際、チョッパー部分に手が挟まり右手薬指を骨折。

○ビニールハウス巻き取り機

ハウスのビニールを巻き上げ作業中、滑車が逆回転したのを止めようとして素手でさわって負傷。

○タマネギ用収穫機

収穫中、かきあげベルトにゴミが詰まっていたので除去しようとした際、誤ってかきあげベルトを駆動させて左手等を負傷。

簡単なつまり除去作業であっても必ずエンジンを停止し、十分な安全を確保して作業する習慣を身につけましょう。また、脚立など高所での作業中の転落事故や、トラクター乗車中の転倒事故等も発生していますので、安全確認を徹底しましょう。



お詫びと訂正

本誌8月号の中で、記載内容に誤りがございましたので訂正してお詫び申し上げます。

P18 「アラカルト」 第16回JAさっぽろ親睦パークゴルフ大会 大会成績
(誤) 団体の部 第3位 北札幌地区 (正) 団体の部 第3位 篠路地区